

## 平成21年度第1回図書館協議会配布資料一覧

- 1 次第
- 2 平成20年度事業報告 【資料1】
- 3 平成20年度図書館サービス評価指標の達成状況・自己点検の結果報告 【資料2】
- 4 千葉県生涯学習審議会会議資料  
    今後の千葉県における図書館の方向性について(意見) 【資料3】
- 5 千葉県子どもの読書活動推進計画の改定について 【資料4】

## 平成21年度第1回図書館協議会次第

日 時 平成21年7月14日（火）  
午後1時30分から  
場 所 千葉県立中央図書館 講堂

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 平成20年度事業報告について

(2) 平成20年度図書館サービス評価指標の達成状況・自己点検の結果報告について

(3) 平成20年度図書館サービス評価指標の達成状況の評価について

(4) その他

4 そ の 他

5 閉 会

概況

県立図書館は、運営方針に基づき、県内公共図書館の中核としての県立中央図書館、県西部地域の図書館を援助する県立西部図書館、県東部地域の図書館を援助する県立東部図書館の3館の密接な連携により、県内公共図書館への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修等の幅広い図書館活動を行った。

新たな取組として、図書館サービス評価指標（22年度までの3年間）の設定と外部評価制度の導入、パスファインダーの作成を行ったほか、中央図書館及び東部図書館では関係機関の協力を得て県民の課題解決型の企画展示「大地震と県民の安全を考える」を、西部図書館では図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館 まなびトーク」を開催した。

なお、東部図書館では11月に、開館10周年記念事業として講演会「写真家が見た九十九里浜一オッペシ・港・消えた砂浜」を開催した。

図書館事業概要

| 項目              |                 | 館名           | 中央図書館       | 西部図書館           | 東部図書館      | 合計         |
|-----------------|-----------------|--------------|-------------|-----------------|------------|------------|
| 資料整備            | 資料総数            | 受入冊数         | 10,516冊     | 6,117冊          | 10,798冊    | 27,431冊    |
|                 |                 | (内購入冊数)      | (6,581冊)    | (3,893冊)        | (9,771冊)   | (20,245冊)  |
|                 |                 | 購入費          | 33,500千円    | 21,300千円        | 37,000千円   | 91,800千円   |
|                 | 蔵書数(平成21年3月末現在) | 848,658冊     | 237,647冊    | 217,611冊        | 1,303,916冊 |            |
| 新聞・雑誌・法規集       | 83紙・3,226誌・37種  | 93紙・660誌・11種 | 28紙・381誌・4種 | 204紙・4,267誌・52種 |            |            |
| サービス業務          | 利用状況            | 入館者数         | 93,645人     | 219,729人        | 188,517人   | 501,891人   |
|                 |                 | 登録者数         | 13,762人     | 24,349人         | 11,648人    | 49,759人    |
|                 |                 | 個人貸出         | 52,056冊     | 66,567冊         | 64,838冊    | 183,461冊   |
|                 | 資料複製サービス        | 170,896枚     | 88,700枚     | 15,746枚         | 275,342枚   |            |
|                 | 参考調査 照会・質問      | 9,984件       | 13,284件     | 7,992件          | 31,260件    |            |
| 協力業務            | 図書館間貸出冊数        | 39,015冊      | 17,829冊     | 31,906冊         | 88,750冊    |            |
|                 | 市町村立図書館等の相互貸出冊数 | 38,690冊      | 29,629冊     | 13,656冊         | 81,975冊    |            |
| 管内人口(平成21年1月1日) |                 |              |             |                 |            | 6,153,658人 |

備考 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

1 資料の収集

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援するため、また、県内の市町村立図書館等への協力・援助を行うため、中央図書館・西部図書館・東部図書館が連携・分担して収集整備した。

購入実績

| 区分     | 中央図書館               | 西部図書館               | 東部図書館               | 合計                    | 当初計画値     |
|--------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|-----------|
| 図書資料   | 6,288冊<br>(104.7%)  | 3,649冊<br>(98.8%)   | 9,511冊<br>(100.6%)  | 19,448冊<br>(101.5%)   | 19,152冊   |
| マイクロ資料 | 199リール<br>(218.7%)  | 214リール<br>(100.5%)  | 93リール<br>(97.9%)    | 506リール<br>(126.8%)    | 399リール    |
| 視聴覚資料  | 94点<br>(470.0%)     | 30点<br>(142.9%)     | 167点<br>(133.6%)    | 291点<br>(175.3%)      | 166点      |
| 逐次刊行物  | 229タイトル<br>(100.0%) | 504タイトル<br>(100.0%) | 311タイトル<br>(100.0%) | 1,044タイトル<br>(100.0%) | 1,044タイトル |

※ ( )内は、当初計画に対する達成率

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料等を収集した。

| 区 分 | 中央図書館 | 西部図書館 | 東部図書館 | 合 計     | 当初計画値 |
|-----|-------|-------|-------|---------|-------|
| 図 書 | 153 冊 | 61 冊  | 512 冊 | 726 冊   | —     |
| 雑 誌 | 541 冊 | 663 冊 | 0 冊   | 1,204 冊 | —     |

2 奉仕業務

来館する利用者に閲覧、貸出し、資料複製等のサービスを実施し、県民から寄せられる口頭、電話、メール、文書等による、資料に関する調査・相談等に応じた。千葉県関係資料、児童サービスでは中央図書館が県内のセンター館としての活動を行い、障害者サービスは県立図書館3館が連携・協力してサービスの充実に努めた。また、中央図書館、東部図書館では県総務部消防地震防災課等の協力を得、企画展「大地震と県民の安全を考える」を実施した。

【中央図書館】

20年度の新規事業として、「図書館活用ミニ講座」「障害者用読書支援機器活用講座」を実施した。児童サービスでは、絵本の読み聞かせ等の講師に職員を積極的に派遣した。障害者サービスでは「びぶりおネット」に参加し、業務の合理化、資料提供の迅速化を図った。また、携帯用録音図書プレーヤー及びSDカードの貸出しを試行した。参考業務では、県民が資料・情報を効率的に探せるようにパスファインダーの作成に着手した。

<平成20年度実施事業>

| 事 業 計 画                  | 実 施 状 況   |
|--------------------------|---|
| 定例おはなし会<br>毎週土曜日 午後      | 全47回 語り手 当館児童資料室 司書他<br>参加者延べ228人 平均4.9人/回  |
| 図書館活用ミニ講座<br>第2金曜日 第4日曜日 | 「県立中央図書館の活用」全7回 講師 当館職員<br>参加者延べ9人 平均1.3人/回<br>「県立図書館等の活用」全2回 講師 当館職員<br>参加者延べ3人 平均1.5人/回   |
| 図書館音訳者養成講座<br>全2回        | 9月10日（水）「対面朗読時に音訳者に求められる技能」講師 全視情協音訳指導員 恵美三紀子氏<br>「対面朗読時に必要な録音機器の操作手順」講師 当館副主査 松井進<br>9月24日（水）「対面朗読時に音訳者に求められる技能」講師 恵美三紀子氏 「録音図書のインターネット配信事業の最新動向」講師 日本点字図書館 図書製作部長 天野繁隆氏<br>参加者延べ42人 平均21人/回 |
| 子どもの本の読み聞かせ講座<br>全2回     | 酒々井地域 10月2日（木）3日（金）<br>講師 船橋市・にんじん文庫 入交静氏<br>参加者延べ103人 平均51.5人/回<br>いすみ地域 1月29日（木）30日（金）<br>講師 船橋市・ゆか下文庫 小谷孝子氏<br>参加者延べ108人 平均54人/回   |
| 冬のおはなし会<br>全2回           | 12月6日（土）語り手 当館児童資料室 司書他<br>参加者 午前の部 23人 午後の部 25人  |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| アドベンチャーライブラリー（図書館探検）<br>1回 | 2月15日（日）参加者 小学生5人                      |
| 書庫見学会 第2金曜日 第4金曜日          | 全22回 参加者延べ38人 平均1.7人/回                 |
| 障害者用読書支援機器活用講座             | 9月9日（火） 9月16日（火）<br>参加者延べ33人 平均16.5人/回 |
| 読み聞かせ等講師派遣 全10回            | 当館司書 中野晶子、平塚明子 参加者延べ310人               |

### 【西部図書館】

県民の図書館利用の拡充を図るため、所蔵資料や外部データベースの検索・活用方法などを紹介する「図書館活用講座」を開催した。障害者サービスについては、DAISY再生機の活用紹介として「障害者用読書支援機器活用講座」を開催したほか、読書相談・利用案内など、幅広い情報提供に努めた。また、ボランティア養成のため、養成講座、体験講座を開催した。20年度は、図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館 まなびトーク」を初めて開催した。

#### <平成20年度実施事業>

| 事業計画                  | 実施状況   |
|-----------------------|--|
| 図書館活用講座<br>全7回        | 7月9日（水）、9月21日（日） 講座Ⅰ「県立図書館ホームページを使った図書の検索方法」<br>講師 当館職員 参加者延べ17人 平均8.5人/回<br>10月1日（水）、12月7日（日） 講座Ⅱ「インターネットを使った検索・情報の探し方」 講師 当館職員<br>参加者延べ15人 平均7.5人/回<br>11月5日（水）、11月19日（水）、12月3日（水） 講座Ⅲ「外部データベースを使った検索・情報の探し方」<br>講師 日本メディアマーケティング(株) 荒川恵子氏、<br>日外アソシエーツ(株) 太田紘子氏、当館職員<br>参加者延べ20人 平均6.7人/回 |
| 図書館音訳者養成講座（中級）<br>全4回 | 1月14日（水）、1月21日（水）、1月28日（水）、2月4日（水）<br>「DAISY資料製作の実際」講師 視覚障害者総合支援センターちば職員 石渡きよみ氏<br>参加者延べ60人 平均15人/回  |
| ボランティア養成講座<br>1回      | 4月23日（水）「図書館ボランティアの基本的な考え方について」 講師 文化ボランティアコーディネーター 大久保邦子氏 参加者25人  |
| ボランティア体験講座<br>全3回     | 5月14日（水）、5月21日（水）、5月28日（水） 図書館ボランティア希望者への業務体験等 参加者延べ30人  |
| 資料展示<br>6回            | 「夏休みの自由研究」「ダーウィン 生誕200年」他<br>6回実施  |
| 図書館 まなびトーク<br>1回      | 3月18日（水） 図書館を利用して行った生涯学習の発表会 「日本の風土を考える ～二つの風土論から学んだこと～」 発表者 湯沢幾男氏 「樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』」 発表者 阿部幸次氏 参加者47人   |
| 障害者用読書支援機器活用講座        | 2月20日（金） 導入編4人 発展編3人 参加者延べ7人   |

【東部図書館】

平成10年11月の開館以来、20年4月に入館者が200万人を超えた。また、11月に開館10周年を迎え、記念事業として、旭市在住の写真家小関与四郎氏を招いて「写真家が見た九十九里浜—オッペシ・港・消えた砂浜」と題し、「歴史講座」を開催した。障害者サービスについては、「図書館音訳者養成講座」を開催し、デジタル録音技術の習得を目指した。また、「名作映画鑑賞会」を毎月開催するとともに、図書館利用の一層の拡充を図るため、新たに「図書館見学会」と「図書館の達人（検索入門編）」を開始した。

<平成20年度実施事業>

| 事業計画                              | 実施状況  |
|-----------------------------------|---|
| 図書館音訳者養成講座（初級）<br>全5回             | 11月12日（水）、19日（水）、21日（金）、26日（水）、12月3日（水）<br>第1回「デジタル録音図書（DAISY）の現状と背景」<br>講師 視覚障害者総合支援センターちば職員 石渡きよみ氏<br>第2回「読めない言葉の調査」<br>講師 朝日カルチャー講師 松本久美子氏<br>第3回「人名地名の調査」 松本久美子氏<br>第4回・第5回「デジタル録音の実際①・②」<br>講師 石渡きよみ氏 参加者延べ52人 平均10.4人/回   |
| 文学・歴史講座<br>1回                     | 11月22日（土）「写真家が見た九十九里浜—オッペシ・港・消えた砂浜」講師 写真家 小関与四郎氏<br>参加者 70人   |
| 名作映画鑑賞会<br>毎月第3土曜日 全11回           | 4月19日「エデンの東」エリア・カザン監督 1954年<br>5月17日「巴里の屋根の下」ルネ・クレール監督 1930年<br>6月21日「植村直己物語」佐藤純彌監督 1986年<br>7月19日「リバー・ランズ・スルー・イット」<br>ロバート・レッドフォード監督 1992年<br>9月20日「黒いオルフェ」マルセル・カミュ監督 1959年<br>10月25日「第三の男」キャロル・リード監督 1949年<br>11月15日「TOMORROW明日」黒木和雄監督 1988年<br>12月20日「カサブランカ」マイケル・カーチス監督 1943年<br>1月17日「若草物語」ジョージ・キューカー監督 1933年<br>2月21日「自転車泥棒」<br>ヴィットリオ・デ・シーカ監督 1948年<br>3月21日「伊豆の踊り子」五所平之助監督 1933年<br>参加者延べ429人 平均39人/回 |
| 資料展示<br>展示コーナー 4回<br>資料紹介コーナー 12回 | 展示コーナー 4回実施<br>（4月～7月）「源氏物語1000年紀」<br>（7月～10月）「情熱の国ブラジル 移民100周年を記念して」<br>（10月～12月）「日本画を楽しむ 近世～現代」<br>（1月～4月）「日本の古典芸能 歌舞伎と落語」<br>資料紹介コーナー 12回実施  |
| 図書館の達人（検索入門編）<br>1回               | 2月8日（日） 参加者 3人  |
| 図書館見学会<br>1回                      | 2月26日（木） 参加者 4人   |

### 3 協力・援助業務

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。また、県立3図書館間、県立図書館及び市町村立図書館間に連絡車・協力車を定期的に巡回させ、相互貸借の資料を搬送した。

さらに、市町村立図書館及び図書館未設置市町村に対して、運営相談・協力レファレンス等を通じた援助を行うとともに、高校・大学及び類縁機関等との連携、読書活動の充実に努めた。

白子町、長南町、御宿町の3町に千葉県公共図書館協会への加入を働きかけた結果、3町から21年4月からの加入申込を受け、県内全市町村による相互貸借のネットワークが整備されることとなった。

#### 【中央図書館】

ア 図書館協力車事務担当者会議

29市町村 46人出席

イ 行政支援

県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務に必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。(貸出冊数 1,011冊)

ウ 県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会と共催で、千葉県読書グループ育成研修大会を開催した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。

<十冊文庫>

整備数 18 (総タイトル数 1,353)

#### 【西部図書館】

ア 市立図書館相互協力担当者会議

・11市 2回開催 計50人出席

・第2回においては「図書館運営(相互協力業務等)における危機安全管理について」を協議し、アドバイザーより助言をいただいた。

イ 新聞雑誌総合目録データ

千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立衛生短期大学、さわやかちば県民プラザが所蔵する新聞・雑誌のデジタルデータを提出してもらい、県立図書館ホームページで公開した。

ウ 広報・支援活動

市立図書館への広報として3館での相互協力NEWS担当発行と共にエリア内へのメールマガジン“Ciao Ciao”5本発行。また連携する高等学校へ各教科・総合的な学習の時間での活用事例集やワンポイントアドバイス配布等を行なった。

#### 【東部図書館】

ア 市町村立図書館等相互協力担当者会議

11市町 16人出席

イ 市町村立図書館及び未設置町公民館図書室に対する運営相談

図書館及び公民館図書室等に対し延べ122回の運営相談を実施した。

ウ 高等学校支援

・東総地区高等学校図書委員連絡協議会と共催で総会及び研究会を開催。障害者サービスについて講義と実技を行った。(13校、生徒31人、引率職員15人)

・進路学習への協力

千葉県立成東高等学校の進路学習のための特別授業としての大学模擬講義に対し、事前学習用資料を提供した。

・運営相談の実施

東部図書館奉仕対象地域内の高校20校に対し、延べ51回の運営相談を実施した。

#### 4 研修事業

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。

##### 【中央図書館】

| 事業計画                                       | 実施状況   |
|--|--|
| 公共図書館新任職員研修会<br>1回 参加予定数70人                | 5月15日(木)「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス及び相互協力業務等」講師 当館司書 大石豊、鎌形佐知夫、中野晶子、高梨涼子 参加者90人  |
| 公共図書館サービス計画研修会<br>1回 参加予定数30人              | 9月26日(金)「図書館サービス計画の作成」講師 大石豊 参加者12人  |
| 児童サービス基礎研修会<br>全4回                         | 第1回 6月5日(木)「児童奉仕概論」講師 柏市立図書館副主幹 利光朝子氏 参加者38人<br>第2回 7月3日(木)「絵本・物語の選書について」講師 浦安市立中央図書館主任司書 島本まり子氏 参加者39人<br>第3回 9月4日(木)「ノンフィクションの選書について」講師 茂原市立図書館司書 木島悦子氏 「おはなし会の運営について」講師 当館司書 平塚明子 参加者37人<br>第4回 10月9日(木)「絵本の読み聞かせ実習」講師 当館司書 平塚明子 「子どもの発達と本を読むこと」講師 秋草学園短期大学特任教授樋口美佐子氏 参加者55人 延べ169人 平均42.3人/回 |
| 地域行政資料研修会<br>1回 参加予定数40人                   | 7月10日(木)「近世の絵地図について」講師 伊能忠敬記念館学芸員 紺野浩幸氏 「地域行政資料の探し方 入門」当館司書 山田浩子 「ビギナーのための郷土資料入門」当館司書 藤川洋子 参加者33人  |
| レファレンス研修会<br>レファレンスサービス基礎研修<br>2回 参加予定数80人 | 6月6日(金)「レファレンスサービス実践の基礎」講師 当館司書 大石豊氏 「レファレンスインタビュー」講師 当館司書 赤沼知里 参加者36人<br>6月13日(金)「インターネットによる資料の調べ方」講師 当館司書 安永はるみ、安宅仁司 参加者39人 平均37.5人/回  |
| レファレンス研修会<br>インターネット情報検索研修<br>2回 参加予定数40人  | 10月3日(金)「インターネット情報検索」講師 当館司書 赤沼知里、安永はるみ 参加者16人<br>10月24日(金)「インターネットによる情報検索 II」講師 青山学院大学教授 小田光宏氏 参加者18人 延べ34人 平均17人/回   |
| レファレンス研修会<br>レファレンスサービス専門研修<br>1回 参加予定数40人 | 3月17日(火)「図書館の武器としてのパスファインダー」講師 国立国会図書館主題情報部科学技術・経済課企画運営係長 小澤弘太氏 参加者33人   |
| 千葉県読書グループ育成研修大会<br>1回 参加予定数50人             | 3月8日(日)9日(月)いすみ鉄道大多喜駅構内の貸切車両において、タレント・絵本作家の渡辺正行氏による講演を行うとともに、町内の史跡探訪を実施 参加者62人   |



|                            |         |
|----------------------------|---------|
| 図書館音訳者養成講座<br>全2回 参加予定数30人 | 前掲 (P2) |
| 障害者用読書支援機器活用講座             | 前掲 (P3) |

【西部図書館】

| 事業計画                              | 実施状況  |
|-----------------------------------|---|
| 図書館ネットワーク研修会<br>1回 参加予定数40人       | 10月2日(木)「医療・健康情報提供サービスのあり方について」講師 横浜中央図書館司書 川原純子氏 「柏市立図書館の課題解決型支援事業(医療・健康情報提供サービス)について」発表者 柏市立図書館主幹 諏訪部正敏氏 参加者33人 |
| 資料補修研修会<br>1回 参加予定数30人            | 12月11日(木)「打抜き製本実習」「図書館資料の補修方法について」講師 兵庫ナカバヤシ(株)工場長 小谷英輔氏 参加者31人   |
| 障害者サービス研修会<br>1回 参加予定数40人         | 6月11日(水)「知的障害者にも分かりやすい情報を提供するために」講師 毎日新聞社夕刊編集部長 野沢和弘氏 「成田市立図書館における障害者サービス」発表者 成田市立図書館副主査 谷智治氏 参加者24人              |
| 図書館音訳者養成講座(中級)<br>全4回 参加予定数 各回30人 | 前掲 (P3)   |

【東部図書館】

| 事業計画                           | 実施状況  |
|--------------------------------|---|
| 図書館運営研修会<br>1回 参加予定数50人        | 6月18日(水)「小さな図書館でできるレファレンス」講師 調布市立中央図書館主査 吉田 光美氏 参加者 37人   |
| 資料検索研修会<br>1回 参加予定数15人         | 8月1日(金)県立図書館ホームページの検索等を体験することにより、利用者の求めに的確に応え、相互協力の一層の活用を促すための講義及び実習<br>講師 当館主査 林昌子、石橋利恵子 参加者7人 |
| 図書館音訳者養成講座(初級)<br>全5回 参加予定数30人 | 前掲 (P4)   |

5 電算業務

横断検索参加自治体に3市町(館山市、柏市、大網白里町)を追加したので、平成20年度末の参加自治体数は31市2町(63館)となった。

《横断検索参加自治体一覧》

平成21年3月末で31市2町63館

| 参加年度   | 参加自治体                         |
|--------|-------------------------------|
| 平成13年度 | 千葉市、市川市、佐倉市、浦安市、四街道市、南房総市、香取市 |
| 平成14年度 | 船橋市、成田市、八千代市、山武市、横芝光町         |
| 平成15年度 | 旭市、市原市、我孫子市、袖ヶ浦市、八街市          |
| 平成16年度 | 松戸市、富里市、匝瑳市                   |
| 平成17年度 | 東金市、君津市、白井市                   |
| 平成18年度 | 銚子市、木更津市、印西市                  |
| 平成19年度 | 野田市、茂原市、習志野市、流山市              |
| 平成20年度 | 館山市、柏市、大網白里町                  |

【図書館サービス評価指標の達成状況・自己点検の結果報告】

【資料 2】

| 区分               | サービス評価指標             | 達成目標  | 平成20年度達成状況                            | 自己評価<br>A～D | 摘要   |
|------------------|----------------------|---|---------------------------------------|-------------|--|
| 1 所蔵資料の充実        | ① 資料購入冊数             | 概ね現状維持<br>平成22年度目標 20,000冊<br>(平成19年度実績 20,062冊)  | 20,245冊<br>(101.2%)                   | A           | 3館の図書購入費が前年度と同額で維持できた。   |
|                  | ② 寄贈資料受入冊数           | 3年間で1%増<br>平成22年度目標 8,300冊<br>(平成19年度実績 8,195冊)   | 7,186冊<br>(86.6%)                     | C           | 3館で約11,000冊の図書寄贈申込みがあったが、これは例年よりも約3,000冊多かったため、受付・選定に時間がかかり、受入冊数は前年度を下回った。                                       |
|                  | ③ 千葉県関係資料の受入冊数       | 3年間で6%増<br>平成22年度目標 3,200冊<br>(平成19年度実績 3,006冊)   | 2,813冊<br>(87.9%)                     | C           | 千葉県関係資料受入冊数の9割近くが寄贈資料であるため、受入冊数は前年度を下回った。  |
| 2 来館利用・情報アクセスの充実 | ④ 来館者数               | 3年間で1%増<br>平成22年度目標 508,000人<br>(平成19年度実績 503,078人)   | 501,891人<br>(98.8%)                   | B           | 新規の企画展や発表会を開催する等、図書館の魅力をPRし利用促進に努めた。   |
|                  | ⑤ 来館者満足度             | 3年間で満足度70%以上(満足度6段階の上位2段階)を保ちながら、さらに向上するように努めます。<br>(19年度実績77%)   | 73.6%<br>(105.1%)                     | A           | 館内研修の充実を図り、業務実例の共有化を徹底し、サービスの向上に努めた。   |
|                  | ⑥ ホームページへのアクセス件数     | 3年間で20%増<br>平成22年度目標 580,000件<br>(平成19年度実績 485,299件)  | 526,257件<br>(90.7%)                   | A           | 横断検索の参加自治体を増やしたり、企画展示の内容をホームページで公開するなど情報発信に努めた。  |
| 3 レファレンスサービスの充実  | ⑦ レファレンス件数           | 概ね現状維持<br>平成22年度目標 32,000件<br>(平成19年度実績 32,634件)  | 31,260件<br>(97.7%)                    | B           | メールレファレンスの定着を図るとともに、行政支援サービスを開始した。ホームページの蔵書検索により、簡易なものは減少し解決困難なものを中心となってきた。                                      |
|                  | ⑧ 調査研究支援ツール作成件数      | レファレンス事例集の充実を図るとともに、パスファインダーの作成に着手します。<br>a レファレンス事例データ提供:170件<br>b パスファインダーの作成・更新:30件<br>(平成19年度実績 a:3件) | a:40件<br>(※70.5%)<br>b:8件<br>(※80.0%) | C           | 調査研究支援ツール作成方法を検討し、後期から作成したため、十分な進捗は図れなかった。   |
|                  | ⑨ 外部データベース件数         | 平成22年度目標 17件<br>(平成19年度実績 15件)  | 15件<br>(88.2%)                        | C           | 3館の外部データベースの導入方法や課題について検討した結果、県民の課題解決に迅速に応えられる法情報データベース等を導入することとした。  |
| 4 千葉県関係情報の充実     | ⑩ 千葉県関係情報の発信         | 質的充実を図ります。  | a:19,163件<br>(-)<br>b:4回<br>(-)       | A           | a:「千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索」のデータの入力に力を入れ、前年度の実績に比べ38%増の情報発信ができた。<br>b:千葉県関係のテーマ展示を3回実施した。また関連部局と連携し県民の課題解決型の企画展示を1回開催した。 |
|                  | ⑪ 資料の電子化             | 千葉県関係の貴重資料を中心に電子化を行い、利用促進を図ります。<br>(平成19年度実績 328タイトル)   | 347タイトル<br>(-)                        | A           | 新たに和装本、錦絵、明治時代の人名事典など19タイトルを選定し電子データを作成した。   |
| 5 学校・家庭の教育支援     | ⑫ 学校教育支援・家庭教育支援の質的充実 | 学校図書館運営の充実や子どもの読書活動の推進に向けた支援用マニュアルの作成や連携の仕組みづくりに着手します。  | 未着手                                   | -           | 平成21年度着手予定。<br>「推薦図書リスト」を作成し、学校等に配布した。   |

| 区分                | サービス評価指標           | 達成目標  | 平成20年度達成状況            | 自己評価<br>A～D | 摘要  |
|-------------------|--------------------|---|-----------------------|-------------|---|
| 6<br>児童サービスの充実    | ⑬ 児童サービスの研修内容の質的充実 | 児童サービス研修内容の質的充実を検討し、段階的に充実します。                        | 未着手                   | —           | 平成21年度着手予定。   |
| 7<br>障害者サービスの充実   | ⑭ 録音図書貸出タイトル数      | 3年間で 10%増<br>平成22年度目標8,000タイトル<br>(平成19年度実績7,307タイトル) | 8,830タイトル<br>(110.4%) | A           | 録音図書の目録をインターネット上に公開したり、電子メールでの録音図書リクエストの受付を開始する等、利用促進に努めた。                    |
| 8<br>市町村ネットワークの充実 | ⑮ 相互協力貸出冊数         | 3年間で8%増<br>平成22年度目標 90,000冊<br>(平成19年度実績 83,415冊)     | 88,750冊<br>(98.6%)    | A           | 市町村立図書館等を訪問し、運営相談を行うとともに、図書館職員や学校図書館職員に対して、相互協力マニュアルやハンドブックを活用しながら利用の促進をPRした。 |
|                   | ⑯ 協力レファレンス件数       | 概ね現状維持<br>平成22年度目標 2,800件<br>(平成19年度実績 2,793件)        | 1,876件<br>(67.0%)     | C           | ホームページの蔵書検索により、簡易なものは減少し解決困難なものを中心となってきた。                                     |
| 9<br>職員研修等の充実     | ⑰ 体系的・実践的な研修の実施    | 体系的・実践的な研修方法を検討し、段階的に研修の充実を図ります。                      | 未着手                   | —           | 平成21年度着手予定。   |
|                   | ⑱ 図書館ボランティアの育成     | 3年間で 20%増<br>平成22年度目標 320人<br>(平成19年度実績 267人)         | 342人<br>(106.9%)      | A           | 新たに図書館ボランティア体験講座を実施した。  |

※平成21年度達成状況欄の( )内は、平成20年度の目標値を未設定のため、平成22年度達成目標に対する率を記載  
 ※⑧の達成率の算定にあたっては、目標値が累計値であるため、平成20年度値は実績値に3を乗じたものとし算出。

【自己評価基準】

| ランク | 評価内容          | 評価の目安         |
|-----|---------------|---------------|
| A   | 目標達成          | 100%以上        |
| B   | 目標をほぼ達成       | 概ね90%以上100%未満 |
| C   | 一定の成果はあったが未達成 | 50%以上90%未満    |
| D   | 目標を著しく未達成     | 50%未満又は未着手    |
| —   | 評価対象外         | 次年度以降に着手予定    |